

学校運営協議会だより

飯小学校学校運営協議会事務局

共に育ち 共に生きる 地域の学校

第 2 号

R3. 11 月 12 日

次 第

- ◆授業参観 9:30～10:00
- ◆協議会 10:00～11:30
 - 1 開会のあいさつ
 - 2 校長あいさつ
 - 3 報告・協議
 - ①教育活動について
 - ②生活科・総合的な学習の時間について
 - ③学校評価の結果
 - ④城北中学校区の課題
 - ⑤今後の学校行事
 - ⑥その他
 - 4 閉会のあいさつ

今回の協議会（11月10日開催）は、本格的に授業で活用を始めた iPad と、城北中学校区の課題として明らかになった「読む力・書く力」の育成を中心に、協議を行いました。協議内容は下記のとおりです。

教育活動等について ①～④

質問 1

他校の1年生はローマ字入力をしている。本校のローマ字教育はどのようになっているのか。

回答 1

1・2年生は五十音で入力、3年生以上はローマ字入力を行っている。児童は意欲的にローマ字入力ができるようになっている。ローマ字入力トレーニングのサイトを利用している。

質問 2

上越市内でも飯小学校は先進的な取組をしていると聞く。iPadの活用率はどのようになっているか。上越市内ではどうなのか。すべて iPad なのか。

回答 2

すべての学年で積極的に活用している。当校は全ての学級に大型テレビを配置しているので、iPadを授業で活用しやすい環境となっている。上越市内の小中学校は全て iPad が配備されたが、活用状況は学校によって異なる。

意見 1

iPadに限らず多くの情報端末が生活の中に入ってきている。日本全体で書く力が下がっているのではないか。変換すれば答えが出るため、書く機会が減っている。書く機会がなくなると書けなくなる。児童には書かせることをしないと、書く力が落ちていく。

意見 2

今までと違って、手書きをすることが無くなっている。学校からのアンケートもインターネット入力に変わった。手書きの必要性は今の世の中どの程度なのか。

そういう時代なので、（ネット等で回答できる）スキルを身に付ける必要があるのでは。

意見 3

自分たちの時代とは違い、小学校から英語の学習が始まっている。ローマ字を覚える意味でも iPad を使うというのは良いことだと思う。ただ、iPad を使い始めてから丁寧に字を書こうとする気持ちが以前より弱くなった気がする。

意見 4

読み取る力、国語は大事である。読解力を育てていく必要を感じる。

意見 5

大学や高校の入試が変わってきていて、記述問題が少なくなっている影響を受けている。

意見6

現行の学習指導要領には「読む」「書く」が大事であると書かれている。iPadは書く力に役立つ一面がある。しかし、日常の指導はおろそかにしてはならない。教師は「読み書き」を押し付けるのではなく、子どもが喜んで取り組む指導法を工夫しなければならない。地域も子供のかかわり方次第で力が育つ。家庭も子どもと話し合っ一緒に取り組むことが大切である。

意見7

学校評価の分析に「自信がないから書けない」とあった。今の子どもたちは、情報収集能力は高まっている。しかし、「それであなたはどうなの？」と問われると「私は～と思う。なぜなら～」と答えられない。そういう経験ができるような良質な課題を授業で与える必要がある。学習場面を教師がどう作るかにかかっている。

意見8

子どもは、情報収集能力が高い。しかし、授業等で調べ学習をしていると本来の課題ではない方向へ脱線してしまう。それは、検索の際見つけたより「面白い」ものに興味が移ってしまうからだ。教師は、学習のねらいや活動の「面白さ」を子どもに与えることが大切だ。

意見9

情報端末は習うより慣れも必要。しかし、SNSの取り扱いなどは注意が必要だ。

学校行事について ⑤

意見1

去年の卒業式は、人数を制限して行われた。卒業生の中から「さみしかった」という声が聞かれた。卒業生には、大勢の人から見送ってもらいたいという気持ちがある。

意見2

学校行事は、子どもにとっては一生に一度の思い出の場となる。やり方を工夫して全て行ってもらいたい。止めるという判断は最後の最後まで検討をしてから行うべし。

意見3

今後の状況にもよるが、保育園は卒園式から行事を通常の方法に戻す予定だ。

意見4

来賓も人数を厳選して出席してもらえばよいのではないか。

児童のあいさつ運動について ⑥

意見1

登下校時に町内で見守りをしていると、子どもが挨拶をしてくれる。そうすると地域としても元気ももらえてよい。

危機管理について（登校時の雷雨・新型コロナウイルス感染症対策） ⑥

意見1

10月20日（水）の雷雨では、登校をどうするか迷った家庭が多かった。雷雨の中歩いた班もあれば、保護者が送迎したところもあった。こういう場合どうしたらよいのか。

意見2

班のメンバーや連絡先が分からない。そのため結局雷雨の中集合場所に集まり、そこで学校に送れる保護者が調整しなければならなかった。

意見3

メールを出しても見るかどうか分からない。マニュアルづくりが必要ではないか。

意見4

中学生のコロナワクチンの接種率を校長会の折に確認してもらいたい。今後の感染症対応策の決め手となると考える。